

聖心女子大学 グローバル共生ワークショップ プログラムのご案内

聖心女子大学グローバル共生研究所が運営する展示・ワークショップスペースBE*hive(ビーハイブ)では、「難民・避難民」をテーマとした展示に加えて、学びをより深めていただくためのさまざまなワークショップをご用意しています。

講師が一方向的に話すのではなく、参加者が主体となって考え、話し合いを通して学ぶため、参加者同士の学び、気づき、発見があります。

総合学習や訪問学習、修学旅行、その他グループ学習などの一環としてぜひご活用ください。

※BE*hiveにおけるワークショップの企画・運営は、認定NPO法人開発教育協会(DEAR)が担当します。

BE*hiveとは？



2017年9月に聖心グローバルプラザにオープンした展示・ワークショップスペースです。

オープンから2019年3月までの最初のテーマは「難民・避難民」です。この期間は半年ごとに小テーマを「日本にいる難民」「中東の難民」「アジア・アフリカの難民」に変え、それに対応した展示とワークショップを提供しています。



認定NPO法人開発教育協会／DEARとは？



南北格差・環境・紛争・貧困など、地球上で起こっている諸問題はわたしたちの生活と無関係ではありません。開発教育とは、

「知り・考え・行動する」という視点でその解決に取り組んでいくための市民による教育活動です。

開発教育協会は、国際協力NGOや国連関係団体、地域の市民団体など約50の民間団体と教員など約700名の個人で構成される教育NGOです。1982年に発足して以来、開発教育と呼ばれる国際理解や国際協力をテーマとした教材の発行(約30点)や、講師派遣(年間150回)、参加型学習の普及推進を行っています。教材『ワークショップ版・世界がもし100人の村だったら』で国際人権教材アワード受賞(2004年)、教材『写真で学ぼう!「地球の食卓」学習プラン10』で消費者教育教材資料表彰の「内閣府特命担当大臣賞」受賞(2017年)。

(団体ホームページ: <http://www.dear.or.jp>)

プログラム

BE*hiveでは、2種類のワークショッププログラムをご用意しています。

具体的な内容・時間・人数など、ご要望に応じて調整いたしますので、まずはご相談ください。

1. 日本にいる難民をテーマとしたワークショップ

■ねらい

- ・世界と日本の難民の現状とその背景を知り、関心を持つ。
- ・日本にいる難民の現状(認定されてからの生活状況に重点)について知り、その人の暮らしを想像し、自分のこととして考える。

■ワークショップのながれ(80分の場合)

ながれ	時間	手法	詳細
導入	5分	説明	BE * hiveやワークショップのながれについての案内する。
難民にまつわるクイズ	10分	ワーク(個人、全体)	難民と聞いて一人ひとりがイメージすることを共有する。また、世界や日本にいる難民の数に関するクイズを行う。
グループワーク (日本にいる難民のストーリーを知る)	35分	グループワーク	グループ内でそれぞれ違う難民のストーリーを読む。その方の立場に思いを馳せ、ストーリーからどのようなメッセージを受け取ったか、自分だったらどうするか等を考える。その後、グループ、全体で感じたことや疑問を共有する。
BE*hiveの展示見学	20分	ワーク(個人、グループ)	ワークシートを活用しながらBE * hiveの展示を見学する。その後、グループで感想を共有する。
ふりかえり・まとめ	10分	個人ワークと全体共有	日本の難民受入制度に触れながら、参加者同士で感じたことや疑問を共有する。

2. 世界の難民をテーマとしたワークショップ

■ねらい

- ・世界における難民の現状と、難民を生み出した背景や構造を知り、関心を持つ。
- ・難民が置かれている現状について知り、自分だったらどうするか、自分に何ができるかについて考える。

■ワークショップのながれ(80分の場合)

ながれ	時間	手法	詳細
導入	5分	説明	BE * hiveやワークショップのながれについての案内する。
難民にまつわるクイズ	10分	ワーク(個人、全体)	世界の難民と聞いて一人ひとりがイメージすることを共有する。また、特定地域の難民の数や住んでいる国に関するクイズを行う。
グループワーク (世界の難民の映像を見て、ストーリーを知る)	35分	グループワーク	難民に関する映像やストーリーを見る。その方の立場に思いを馳せ、映像からどのようなメッセージを受け取ったか、自分だったらどうするか等を考える。その後、グループ、全体で感じたことや疑問を共有する。
BE*hiveの展示見学	20分	ワーク(個人、グループ)	ワークシートを活用しながらBE * hiveの展示を見学する。その後、グループで感想を共有する。
ふりかえり・まとめ	10分	個人ワークと全体共有	世界や日本の難民の受け入れ状況に触れながら、参加者同士で感じたことや疑問を共有する。

対象・所要時間など

- 対象者・人数 原則として、高校生以上～一般、20名以内まで
- 所要時間 ご希望に応じて、30分～90分程度まで
- 費用 無料(要事前予約)

※具体的な内容・時間・人数など、ご要望に応じて調整いたしますので、まずはご相談ください。

参加者・申込者の感想

難民に関するイメージの変化や自分ごととしてとらえるきっかけになった。普段の授業と違う&広々とした素敵な空間だからこそ、自由に意見を言い合ったり学生同士の学びあいが見られた。(大学生／参加者)

展示を見るという受動的な体験ではなく、ワークショップという参加型学習を通じて、子どもたちの気付きや学びが深まっていた。(公立中学／申込者)

充実した展示とリンクした内容で、参加者の関心を引き出し、疑問に答えていくスタイルがとてよかった。ぜひまたワークショップをお願いしたい。(大学教員／申込者)

難民はみんな私たちと同じように普通に暮らしている人間であることを実感した。自分たちに何ができるかをもっと知りたい。(大学生／参加者)

展示を観るだけでなくワークショップに活用することで更なる学びにつなげることができた。(一般／参加者)



実績（2017年10月～2018年5月） 31件

- <大学> 大妻女子大学、聖心女子大学、東京女子大学、東洋英和女学院大学、獨協大学、早稲田大学、
- <高等学校> 札幌聖心女子学院、秋草学園高等学校、聖心女子学院高等科、捜真女学校高等部、新島学園高等学校
- <中学校> 埼玉県立上尾市立東中学校
- <その他> 目黒区学習グループ 他

プログラムに関する質問・申し込み先

お問い合わせいただく際は「聖心グローバルプラザのワークショップの件」での問い合わせであることをお伝えください。なお、お申し込みをいただく際は、裏面「ワークショップ申込書」をご記入の上、メールもしくはFAXでお申し込みください。

- 住所 東京都渋谷区広尾4-2-24 聖心女子大学4号館/グローバルプラザ
- TEL 03-3407-5811(代表)(4号館内線:104) ■FAX 03-3407-5805
- Email be-hive@g.u.-sacred-heart.ac.jp